

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

「横浜トリエンナーレ 2011」 開催に向けて、いよいよスタート！ ～開催概要、総合ディレクターが決定～

国際現代美術展「横浜トリエンナーレ 2011」が、開催に向けていよいよ本格的に始動します。

第4回展となる今回の総合ディレクターは、横浜美術館館長の逢坂^{おおさか} 恵理子^{えりこ}氏に決定しました。総合ディレクターが指名する共同ディレクターは、今秋決定します。

なお、主会場は、横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK）です。

2011年は、第1回展が開催された2001年からちょうど10年目にあたり、「横浜トリエンナーレ」にとって節目の年となります。創造都市・横浜ならではの取組を国内外にアピールし、「横浜トリエンナーレ」を通じて、アジアにおける文化芸術活動の拠点としての横浜を世界に発信します。

＜横浜トリエンナーレ 2011 開催概要＞

- 1 名 称：横浜トリエンナーレ 2011
【英文表記】YOKOHAMA 2011: International Triennale of Contemporary Art
- 2 内 容：2001年に始まった横浜トリエンナーレの第4回展。
総合ディレクターが掲げるテーマに基づき、世界各地より作家を選定し、多様な作品を展示します。
- 3 会 期：2011年(平成23年)8月6日(土)～11月6日(日)
＊会期中の休館日は、決定し次第お知らせします。
- 4 会 場：横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫(BankART Studio NYK)、
その他周辺地域
- 5 総合ディレクター：逢坂 恵理子（横浜美術館館長）
共同ディレクター：総合ディレクターが指名します。
- 6 主 催：横浜市、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会
- 7 ホームページ：<http://www.yokohamatriennale.jp/>



撮影：鈴木理策

逢坂 恵理子(おおさか えりこ) プロフィール

横浜美術館館長

東京都生まれ。学習院大学文学部哲学科卒業 専攻芸術学。国際交流基金、ICA 名古屋を経て、1997 年より水戸芸術館現代美術センター芸術監督を務める。1999 年、第 3 回アジア・パシフィック・トリエンナーレ日本部門コーディネーター。

2001 年、第 49 回ヴェニス・ビエンナーレ日本館コミッショナーとしてキュレーションを行うなど、現代美術の第一線で国際的に活動する。2007 年より 2009 年 1 月まで森美術館アーティスティック・ディレクター。2009 年 4 月から現職。

今後の発表予定

共同ディレクター、キュレーター等については、**本年秋に発表予定です。**
今後、逐次情報提供してまいります。

横浜トリエンナーレ組織委員会事務局

- 横浜市 APEC・創造都市事業本部 創造都市推進課（横浜トリエンナーレ担当）内
〒231-0015 横浜市中区尾上町 1-6 住友生命横浜関内ビル 5 階
電話：045-671-3503 ファクシミリ：045-663-1928

横浜市は次のプロジェクトにより、文化・芸術による都市づくりを進めています。

ナショナルアートパーク構想 | 創造界隈の形成 | 映像文化都市 | **横浜トリエンナーレ** | 創造の担い手育成

<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/souzou/index.html>

クリエイティブシティ

検索

逢坂恵理子 横浜トリエンナーレ 2011 総合ディレクターの

就任にあたってのコメント

横浜市の創造都市政策の一環として 2001 年に始まった横浜トリエンナーレは、アジアにおける都市型現代美術祭として重要な役割を担ってきました。

第 1 回以来、横浜トリエンナーレは、毎回、主会場を変えながら実施されてきましたが、来年の第 4 回目はようやく横浜美術館が主会場となります。また運営も今までとは変わり、横浜が主軸になる等、新たなスタートを切ります。

100 年の歴史を誇るヴェネチア・ビエンナーレを筆頭に、世界各地で開催されている国際展は、その時代の要請や社会状況に呼応しながら変化・発展し、新しい美術を醸成してきました。横浜トリエンナーレも、美術館が核になることにより、地域との連携や国際的な発信、人的交流や人材育成の促進など、地に足をつけた継続可能な国際文化交流の場として、更なる一步を踏み出すことになるといえるでしょう。

先が見えない混沌とした時代ゆえに、世界の複眼的な見方や想像力を刺激する美術は、社会や人間にとって益々欠くことができないものとなると思います。

準備期間も短いので難しい舵取りが求められますが、共同ディレクターとともに、美術の不思議で多様な魅力を、多くの方々に伝えることができる横浜トリエンナーレを目指したいと思います。

横浜美術館 館長
逢坂 恵理子